



株主・投資家の皆さまにおかれましては、小田急グループに対するご愛顧、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまとご家族および関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

小田急グループは一丸となってこの危機的状況を乗り越え、社会的責任を果たしてまいります。

ここに第99期の業績および当社グループにおける取り組みにつきましてご報告申し上げます。

取締役社長

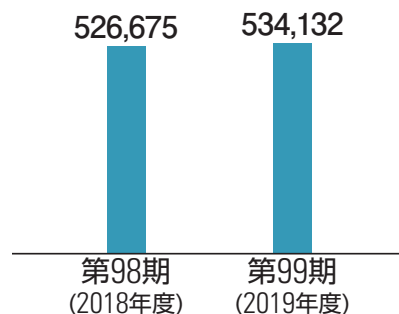
星野晃司

経営理念

小田急グループは、お客さまの
「かけがえのない^{とき}時間」と
「ゆたかな暮らし」
の実現に貢献します。

> 連結業績ハイライト (単位：百万円)

営業収益



▶ 第99期(2019年度)連結決算の概要

不動産業等で増収となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業収益は534,132百万円(前期比1.4%増)にとどまりました。

また、こうした影響や運輸業等における費用の増加により、営業利益は41,103百万円(同21.1%減)となったほか、経常利益は38,299百万円(同22.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は19,923百万円(同38.6%減)となりました。

▶ 第100期(2020年度)業績予想および配当予想について

新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立てられない状況下、現時点で営業収益への影響や今後の対応策を反映した数値計画を合理的に策定することが困難なため、第100期(2020年度)の業績予想および配当予想は未定とします。

▶ コロナショックに対する基本方針

「小田急グループが社会に対して果たすべき役割・責任を守ることをコロナショックに対する基本方針としています。小田急グループは、鉄道やバス等の社会に欠かせないインフラを多く担っていることから、安全・安定運行の維持をはじめ、小田急グループ全体でお客さまの暮らしを支え続けます。さらに、従業員のマスクの着用や換気の徹底を行いお客さまの感染防止などの安全確保に努めるほか、従業員が安心して働ける環境づくりを推進しています。



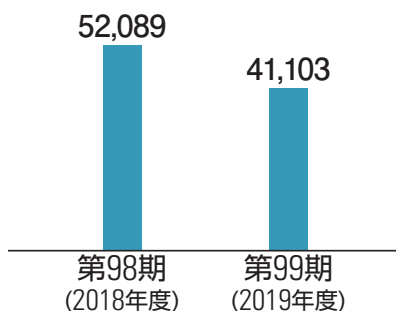
決算の詳細についてはこちら

小田急電鉄 決算短信

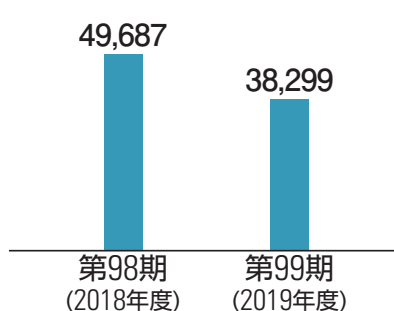
検索



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
当期純利益

